

## 横浜市内の集合住宅を活用した全自動菜園の実験を開始します

横浜市は「I・TOP横浜ラボ」の取組として横浜市住宅供給公社と連携して、集合住宅を実証フィールドとして提供し、新型コロナウイルスの感染対策への対応や、快適な住まいづくりのための新たなIoT製品・サービスの実証実験に関する提案を令和2年7月から8月にかけて募集して8件を採択しました。このうち6件は、すでに取組が開始されています。

今回新たに集合住宅の共有スペースにて全自動菜園ロボットの実証実験を開始します。それに伴い、住民を対象にしたロボットによる農作業実演イベントを実施します。

本取組を通じて、「イノベーション都市・横浜」をさらに推し進めるとともに、得られる成果を郊外住宅地・団地の再生の取組にも活かしていきます。

### 取組内容

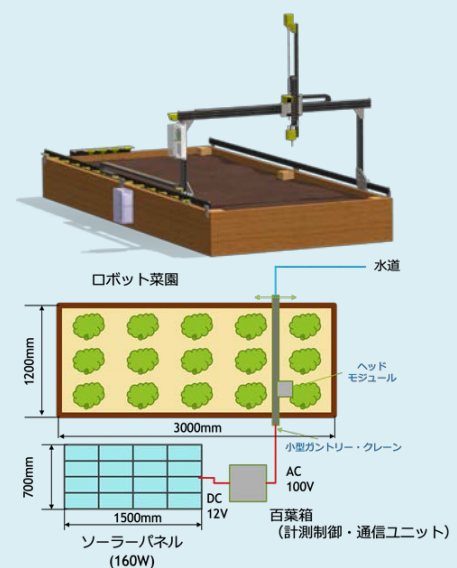
- 青葉電子株式会社（横浜市青葉区）  
 「集合住宅の共有スペースを活用したスマート菜園」

【対象】 オクトス市ケ尾（共有スペース）

【実施期間】 令和3年3月（予定）

【実証内容】 遠隔監視システムと全自動家庭菜園ロボットを連携させ、ユーザーの使いやすさや、作物の収穫量などを検証します。

【狙い】 将来的にはマンションの住民に対して、菜園のシェアリングサービスを提供することを目指します。また、マンションで農業ができる暮らしを創出することで、食育・植育の機会の提供を行います。



実験に先立ち、3月6日に住民向け種まきイベントを実施します。（詳細裏面）

当日の取材をご希望の場合は、以下連絡先までメールにてご連絡ください。

Eメール：[ke-sangyorenkei@city.yokohama.jp](mailto:ke-sangyorenkei@city.yokohama.jp)

#### お問合せ先

【I・TOP横浜に関すること】	経済局産業連携推進課担当課長	石津 雄一郎	Tel 045-671-3591
【マンション・団地の再生に関すること】	建築局住宅再生課長	加藤 忠義	Tel 045-671-4543

※ 本件は、横浜経済記者クラブにも配付しております

裏面あり

## 農作業実演イベントについて

【日時】 令和3年3月6日（土）10：30～14：00

（雨天中止、小雨決行）

【場所】 オクトス市ケ尾共同菜園

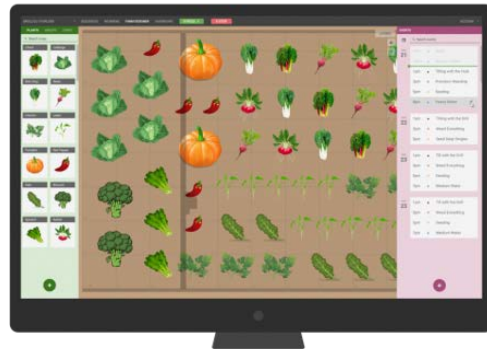
（住所：横浜市青葉区市ケ尾町541-2）

【対象】 オクトス市ケ尾の住民のみなさま

【内容】 10：30～11：00 ロボットによる種まき実演

11：30～12：00 ロボットによる水やり実演

13：30～14：00 菜園写真自動撮影実演



### I・TOP横浜ラボ

I・TOP横浜ラボでは、実証実験の機会・場の提供を行うフィールド提供主体とともに、解決を目指す課題を設定し、I・TOP横浜参画企業から課題に沿った提案を募集します。

提案については、横浜市、フィールド提供主体による審査・採択を行い、採択された提案は、実証実験を行うとともに、社会課題の解決、製品化・サービス化を目指します。

実証フィールドの提供  
(例、横浜市の関連施設、市内事業所)

実証実験の提案募集

提案の採択

実証実験実施

YOXO  
よ く ぞ  
YOKOHAMA CROSS OVER



オープンイノベーションを促進するプラットフォーム

領域を超えた交流

起業から実証実験等へ発展

YOXO  
BOX

スタートアップの成長を促し、オープンイノベーションを創出する拠点

### 「イノベーション都市・横浜」の実現

横浜市は、2019年1月に、研究者・技術者、起業家、学生などの人材が、組織を超えて交流し、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。

「ヨコハマ・クロスオーバー (YOXO)」を旗印として、みなとみらい21地区の研究開発拠点や、関内地区のベンチャー企業など、

市内各地でイノベーション人材の交流を広げ、産学官で新事業の創出・育成に取り組んでいます。

また、「I・TOP横浜」と「LIP横浜」の2つのオープンイノベーションを推進するプラットフォームを相互に連携させることで、市内企業のIoT及びライフイノベーションの取組を促進します。